

hamamatsu monodukuri

浜松ものづくりマイスター

平成28年度 浜松ものづくりマイスター認定者

橋本螺子株式会社

代表取締役社長 橋本 秀比呂氏

専門相談対応分野

工業用規格ねじ・医療用ねじ(骨固定インプラント)など、各種ねじ類の製造・販売

橋本螺子株式会社は、一般規格ねじの販売およびオーダーパーツや特殊ねじの製造販売を事業としています。精密切削加工、冷間圧造、接合、表面処理の技術を駆使し、顧客の細かいニーズに対応できることが、同社の特徴といえます。また金属チタンの特性が医療分野に向いていることに着目し、チタン製の整形外科用骨固定ねじの研究開発を推進、平成18年には成長市場である医療分野を見据え、医療機器事業部を立ち上げました。さらに、リーマンショックの打撃を受けた浜松地域の製造業を盛り上げるために、平成24年には医療機器製造にチャレンジする「協同組合HAMING(ハミング)」を設立(橋本氏自身が代表理事に就任)し、中小企業連携の模範となる活動を続けています。

現在、HAMINGでは、参加企業の得意分野を医療機器分野・福祉介護分野に生かそうと研究・開発を進めており、「職人技を機械加工で再現する手術用器具の開発・試作」や「病理検査器具」、「介護機器」の改善など、医療・介護現場のニーズの具現化に取り組んでいます。

また直近では、橋本螺子株式会社の新規事業の一つとして、既存の規格「ねじ」とアルミや他材質の「ブロック」を組み合わせて動物や乗り物・ロボットなどの作品を創作できるオリジナル商品「ねじブロック」を生み出しました。すでにある自社のリソースを活用し、成熟産業であるねじに対して、新たな価値を創造、コンシューマー市場への販路開拓に成功した稀有な事例として、地域・業界外からも注目を集めています。



マイスター Profile ~資格・実績・受賞等~

受賞歴／

「2016年 はばたく中小企業・小規模事業者300社」
(主催：経済産業省 中小企業庁)

ねじブロック「2015グッドデザインしずおか マネジメント賞」
(主催：静岡県)

ねじブロック「第10回 キッズデザイン賞」
(主催：特定非営利活動法人キッズデザイン協議会)





橋本螺子株式会社 代表取締役社長 橋本 秀比呂 氏

所在地 浜松市東区神立町124-11 HP <http://www.hashimoto-neji.co.jp/> <http://neji-block.com/>

- ◎1954年
浜松市生まれ
- ◎1976年
国士館大学 文学部卒業
- ◎1976年
株式会社星商会(大阪)入社
- ◎1979年
橋本螺子株式会社入社
営業課 課長
- ◎1983年
専務取締役 就任
- ◎1989年
代表取締役社長 就任

先代の父が「ねじ」の商売を始めたのが昭和30年。私の生まれたのが昭和29年。ですから「ねじ」と共に育ったと言っても過言ではありません。私の周りにはいつも「ねじ」があり、「ねじ」が私の「遊び道具」でもありました。その思い出が「ねじブロック」開発の基となりました。

私たちの身の回りには、たくさんの「ねじ」があり、家電製品・車・パソコン・携帯電話などすべてに「ねじ」が使われています。「ねじ」はものづくりの原点と言ってもいいでしょう。このように私たちの生活は「ねじ」に支えられているにもかかわらず、意外と注目されることが少ないのが現実です。その「ねじ」の役割や重要性を一般の方にも理解してほしい、大切さを知ってほしい。そんな思いで生まれたのが「ねじブロック」です。

「ねじブロック」が子供たちの創造力をかき立て、ものづくりの世界に興味をもつきっかけになればと念じつつ、各地で「ねじブロック」の展示会やワークショップを開催するなど「ねじ」を通じて、ものづくりの啓発普及活動を展開しています。「ねじブロック」が将来の「ものづくりはままつ」に少しでも貢献できればと考えております。

現在、弊社の売上の60%が規格ねじとオーダーパーツ、20%が医療分野、残り20%がその他(防災・救命また「ねじブロック」など)の事業です。今後は、医療分野を50%にまで拡大していきたいと思っております。そのために医療現場のニーズを正しく掴み、求められる材質や強度を最適にした形として、お応えしていくことが大切だと考えます。また企業間連携では、自社だけでは成し得ないことも、他社の技術と知恵を掛け合わせることで、低リスクでスピーディーに、よりクオリティの高いものを作り出していけることも実感しています。

しごとの相棒

チタン合金はステンレスの約半分の重さで、耐食性に優れています。また「生体適合性」があり、医療用特殊ねじ(インプラント)などの医療器具の材料として使われています。



10年以上前から、軽くて強いチタンという材質にほれ込み、夢中になって何か新しいことにチャレンジできないかと考えてきました。チタンは私にとっての新しい発想を生むパートナーといえるかもしれません。

プロフェッショナルの視点

「ねじ」の種類は実に様々です。材質も鉄をはじめステンレス、アルミ、樹脂、チタンなどがあります。種類や形状など規格だけでも数十万種にのぼります。

また「ねじ」のトラブルで大きな事故の原因にもなります。多種多様な中から顧客のニーズに適した「ねじ」を正しく提供することが、私たち「ねじ」業者に求められているのです。

仕事の手応え/喜び/やりがい

初めは右も左もわからずに入社してきた若者が、何年か経験を積むうちに、「ねじ」を語る人材として、また人として成長したと感じたとき、大きなやりがいを感ずいます。また



最近では、ねじの存在すら知らなかったようなお子さんが「ねじブロック」を手にし、その面白さに引き込まれていく様子を見るのも楽しみです。「ねじブロック」を体験したお子さんが外出した時に「あ、あそこにもねじがある!」と親子での会話が弾んだというエピソードを聞いた時など、思わずうれしくなっていました。

プロになる方法

すべては実践経験です。お客さまからクレームがあれば、その都度真摯に対応し、お客さまのニーズにお応えしていく。そしてその対価をいただく。それら学びが積み重ねとなって知識だけではないノウハウが身に着き、仕事の本質というもので体得できていきます。当たり前のことですが、たくさんの失敗体験に学び、次の仕事に生かしてゆくことが大切です。また今の目の前にある小さな仕事にも全力で取り組むことによって、より大きな仕事に巡り合えますし、また新しい製品開発のチャンスになります。その継続こそがプロになる方法だと考えます。